

目標達成計画

作成日：平成 26年5月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	59 60 49	人員基準は満たしているが、人手不足により、人員の配置を減らしている為、利用者と余裕を持って接する機会が減っている。その為、退屈な時間を過ごされている事が多い。利用者、個々のやりたいことは把握しているが実施できていないのが現状	利用者と余裕を持ってコミュニケーションをとれる人員の配置。その中で外出する機会など個々のやりたいことを行える環境をつくる。	採用活動の強化により人員は揃いつつある。特に新人職員への教育に注力していき、把握できている利用者のやりたい事を実施できる組織の体制を構築していく。	6ヶ月
2	20	一部の利用者についてはご家族が積極的に馴染みの人や場所に関わっているが、ほとんどの方がホーム以外での関わりがない。	馴染みの人や場所への関係を継続していく	地域のイベントやコミュニティに積極的に参加する。また、ご家族様へは馴染みの人や場所との関わり必要性について説明を行い、出来る範囲での協力を仰ぐ。	6ヶ月
3	35	災害時、火災時、夜間時の年3回の避難訓練を実施しているが実際に災害が起きた場合のフローに曖昧な事がある。また近隣からの協力体制も整っていない。整理整頓されていない箇所があり被害が大きくなる要因がある。	被害を大きくしない為に環境の必要性を職員が理解する。また、避難を迅速に行える協力体制、フローチャートの見直し。	町内会の役員会に出席して避難訓練への参加呼びかけ等、近隣の住人からの協力を得れる関係性を構築。施設内の環境を整える。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。